

装置概要説明書

装置の名称： 通園バス終業点検アシスト装置
型式： CSE-2207A
製造者： 株式会社イズミ
〒335-0022 埼玉県戸田市上戸田3-4-1 M3戸田公園102
電話：090-7005-0483

装置の機能：

1. 待機機能（ローパワーモード）
 2. 電源回路の2重化
 3. セルフチェック機能
 4. SOSスイッチ入力機能
 5. 音声アナウンス機能（車両盗難警報と異種である）
 6. 高輝度LEDバー及びステータスLED表示機能
 7. スマートカード読み込み機能（添乗者とドライバーでダブルチェックを実施する確認操作）
 8. WiFi（無線LAN）インターネット接続機能
 9. 複数の通知先にLINEまたはメールで通知
 10. 携帯電話またはスマートフォンへSMS送信
- 上記8～10のLINE、メール、SMS機能はインターネットに接続しないと実現できませんがインターネットに接続できなくても降車時確認式の後付け置き去り防止を支援する装置として機能します。

作動条件：

車両蓄電池から供給される直流電源（12～24V） マイナスボディアース

装置の構成：

本装置は以下で構成される

1. 本体
2. SOSスイッチ
3. 高輝度LEDバー
4. 車内スピーカー
5. 車外スピーカー
6. スマートカード（添乗者が携行するスマートカード、以降「添乗者カード」と言う）
7. スマートタグ（イグニッションキーに取り付けたキーホルダ様スマートタグ、以降「ドライバータグ」と言う）
8. 設定用カード（本機の各種設定に使用するカード）

装置の機構：

別紙「終業点検装置システム図」参照
別紙「終業点検装置ブロック図」参照
別紙「終業点検アシスト装置 CSE-2207A組み立て図」参照
別紙「終業点検アシスト装置 SOA-2708B組み立て図」参照

作動原理：（状態変異図参照）

本装置は対象車両の蓄電池から供給される直流電源によって動作し、降車時確認式の後付け置き去り防止を支援する装置である。

【リセットスタート】

電源ON後本機はリセットスタートし【待機状態】となり車両の蓄電池を消費しないローパワーモードとなります。

【待機状態】

動作確認LED及び高輝度LEDバーを消灯し原動機始動またはSOSスイッチを検出するまで待機します。
原動機始動を検出するとセルフチェックを実施しセルフチェック結果が正常であれば動作確認LEDを青色点灯、運行開始を車内スピーカーでアナウンスしLINEまたはメールでセルフチェック結果を通知し【運行状態】となります。
異常であれば【異常状態】となります。
SOSスイッチがオンとなったことを検出すると動作確認LEDを赤色点灯し【SOS起動状態】となります。

【異常状態】

動作確認LEDを赤色点滅し、原動機停止を検出すると動作確認【待機状態】となります

【運行状態】

原動機停止を検出すると【降車確認状態】になります。

【降車確認状態】

動作確認LEDを赤色点灯、高輝度LEDバー赤色点滅、車内確認を促す音声アナウンスを車内スピーカーで繰り返し警報をし、運転手と添乗者が車内を見回り、各々が携行する添乗者カードとドライバータグを本体にタッチする（以降、確認操作と言う）か原動機再始動をすることにより車内警報を終了しLINEまたはメールで車内確認を完了したことを通知した後【待機状態】となります。
確認操作せず15分経過すると、【確認未了状態】になります。

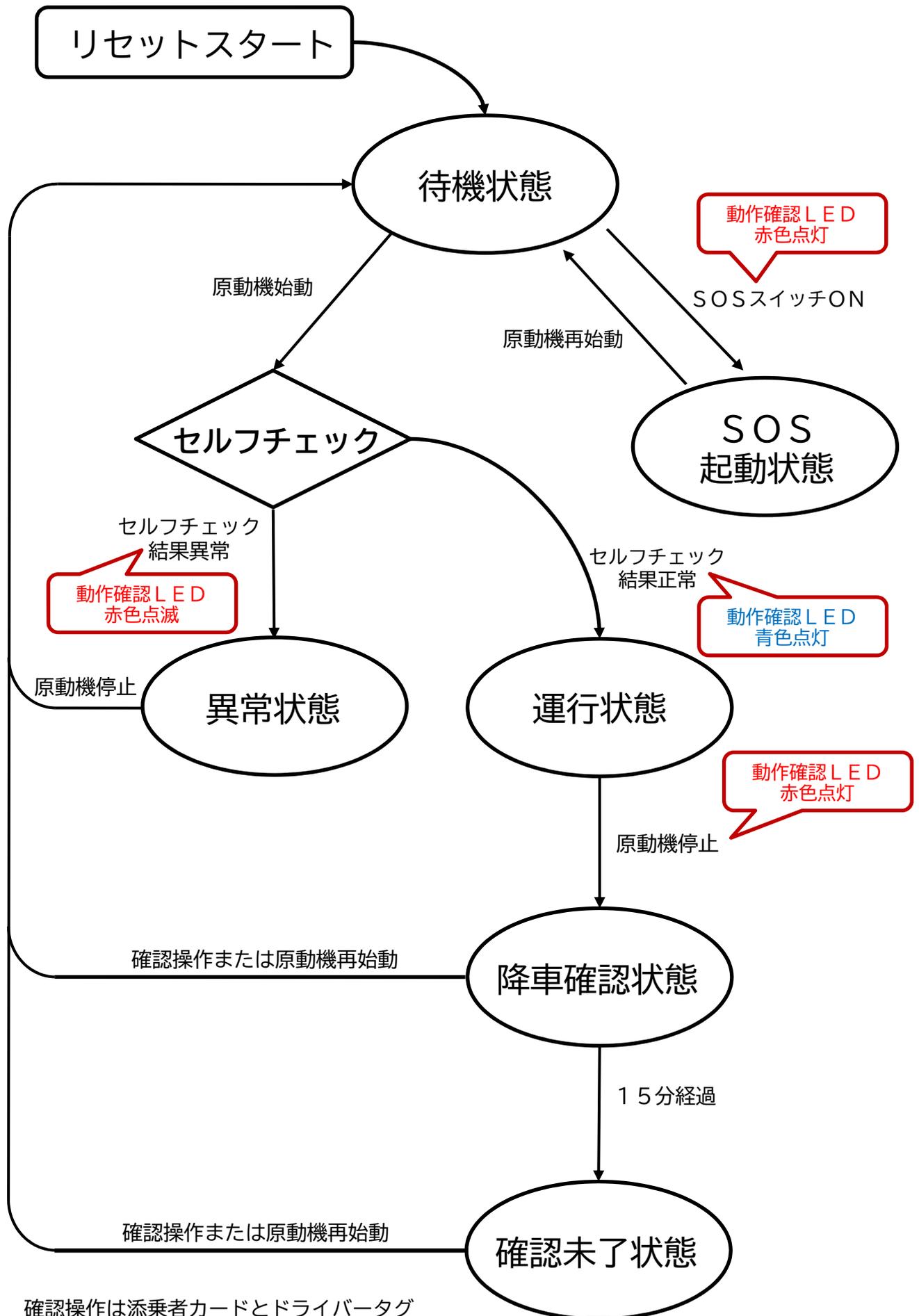
【確認未了状態】

車内点検が確認できていないことを警報音と音声アナウンスを車外スピーカーで繰り返し警報をし、LINEまたはメールで車内点検が確認できていないことを通知します。
確認操作を実施するか原動機再始動をすることにより警報を終了しLINEまたはメールで車内確認を完了したことを通知した後【待機状態】となります。

【SOS起動状態】

高輝度LEDバーを赤色点滅し、警報音を車外スピーカーで繰り返し周囲に知らせ、SOSを知らせたことを車内スピーカーで音声アナウンスをします。5分間隔でLINEまたはメールで繰り返しSOSを通知します。
SOS起動から15分経過するとSMS（ショートメッセージ）でSOSを送信します。
確認操作を実施するか原動機再始動をすることにより警報を終了しLINEまたはメールで車内確認を完了したことを通知した後【待機状態】となります。

状態変異図



確認操作は添乗者カードとドライバータグを本体にタッチ（順不同）する操作です